

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37560
事業名	一時預かり事業費					
評価担当課	所 属	子)子育て支援 施設運営課			電話番号	011-211-2986
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	保護者の就労形態の多様化等に伴い、一時的に家庭での保育が困難となった児童や育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減するために実施してきたところ。 国では、子どもの一時預かりに専従職員を配置する想定で補助金を年額交付することとしているが、本市制度の主要部は預かった児童数に応じた日額の補助であり、施設の収入源として少額かつ不安定で、施設が事業の実施に消極的になっている。結果として保護者の申込みを断るような事例が生じ、保護者の預け先が中々見つからない、希望とは別の施設に預けなければならないなどの相談が増加傾向にあるため、子どもを確実に預けられる環境を維持していく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	1. 一般型保育所タイプ:保育所にて非在園児を対象に一時的な保育を実施する。 2. 一般型幼稚園タイプ:認定こども園及び幼稚園にて非在園児を対象に一時的な保育を実施する。 3. 幼稚園型:認定こども園及び幼稚園において、主に在園児を対象に、教育時間の前後において保育所等と同程度の時間帯及び期間で預かり保育を実施する。 4. 2歳児受入れ促進:幼稚園において、保育の必要性のある2歳児を対象とした定期的な預かり保育を実施する。 令和5年度においては、私立認可保育施設について、一般型303施設(保育所タイプ123施設、幼稚園タイプ180施設)、幼稚園型253施設、2歳児受入れ促進4施設において事業を実施し、前年度の約89万人を大きく上回る約111万人の児童が当該事業を利用した。利用児童数を上回る供給量を確保していることから、子どもを預けたい保護者が確実に預けられる環境を維持することができたものとする。 これにより、保護者の就労形態の多様化等によって年々増加している当事業へのニーズに応えることができおり、子育て支援に一定の効果をあげている。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	引き続き就学前の子どもを一時的に預けたい保護者が確実に預けられる環境を維持すること。
	他都市の状況	全政令市にて実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	849,220 千円	うち特定財源	523,774 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	893,000 千円	うち特定財源	595,160 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度決算額	1,004,524 千円	うち特定財源	560,867 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和6年度予算額	1,063,000 千円	うち特定財源	708,620 千円	正規職員業務量	0.52 人工

指標	アウトプット活動指標1	利用可能率				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	100	100	100	100	100
	↓						
	アウトカム成果指標1	利用可能率				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	100	100	100	100	100
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	達成したと考える。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	一般型の補助単価が国の基準よりも低額であるため、一時預かりの受け入れをより促進できるように補助単価の見直しを検討していく。